



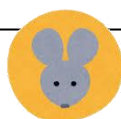
# つくしだより



令和4年2月6日  
川口市立舟戸幼稚園  
年長つくし組

春の気配が感じられる暖かい日には「氷鬼する人いる?」「サッカーしよう」と園庭に出て元気に遊ぶ姿が見られます。サッカーでは「どのボールを使う?」「このボールの方がやわらかいよ」と、自分たちで相談して遊びを進めていきます。保育室のヒヤシンスが咲いたことを喜び、「ピンクの花が咲いた」「きれいだね」と、喜んでいる姿も見られました。

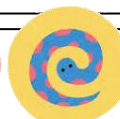
年長つくし組の生活も残り1か月あまりとなりました。4月から小学校1年生になることを楽しみにしています。自分から足し算を披露したり、ピンと伸ばして座る姿、並ぶときに「1年生がやってた」と、自分から前にならえをする姿が見られます。「1年生になるまでにみんなとたくさん遊ぶんだ」また、「幼稚園にずっといたいなあ」などと話しています。卒園までにたくさんの思い出を作り、小学校への期待を高めながら、残りの幼稚園生活を大切に過ごしてほしいと思います。



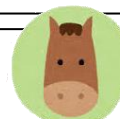
## 劇遊びの始まり



いろいろな物語に興味を持ってほしいと、保育室に絵本を用意したり、読み聞かせをしたりして物語に親しんできました。クラスの時間では『おおきなかぶ』や『ももたろう』『うらしまたろう』などの物語に触れ、登場人物になりきって、表現することを楽しんでいました。年中の時を思い出しながら「こんな置いてみると草に見えるんじゃない?」と、物語のイメージを共有し、考えを出し合いながら楽しみました。

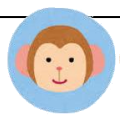


## 友達を認めたり、一緒に考えたり



『十二支のはじまり』も楽しく遊んだ物語の1つです。「ネズミになりたい」「今度は神様になってみたい」など、違う役に挑戦して楽しんできました。登場人物が多く、役がない時には「僕がやるよ!」とすぐに駆けつけ、代わりに演じてくれる子がいたり、台詞が思い出せない友達がいると「次は〇〇って言うんだよ」と助言したりして、助け合いながら楽しんでいました。

友達の姿を見て「立ってる姿がかっこいいね!」「大きな声が出るね」「神様で一番上手だよ」と、友達を認めながら繰り返し楽しんでいました。みんなで最後の場面をどうするかを相談した時は、「ダンスなんかどうかな?」「歌を歌いたいね」など考えを伝え合います。「僕は絵本の通りにやりたい」「僕もそう思ってた」と、しっかりと自分の気持ちを伝えられるようになってきています。



## いよいよお楽しみ会



「お家の人にこの劇を見て、どんな気持ちになってほしい?」と聞くと「うれしい気持ちかな」「楽しんでほしい」と、お家の人に見てもらうのを楽しみにしています。「先生本番までお家の人には絶対内緒ね」と口止めされるぐらい、子供たちは期待を胸に繰り返し表現遊びをしています。

子供たちが劇遊びを楽しんでいる姿をぜひ見ていただきたいのですが、緊張してしまったり、なかなか言葉が出てこなくて止まってしまったりする姿が見られるかもしれません。どの子も一生懸命に表現しようと頑張っています。最後まで温かく見守っていただき、大きな拍手をお願いいたします。そして、お家でたくさん褒めていただければと思います。

劇遊びを通して、友達と力を合わせて、1つのことを成功させようと頑張る過程や頑張った達成感を十分に味わい、進学へ向けて1人1人が自信をもてるように援助していきたいと思っています。

